



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2008-09 年度 No.38 5 月 20 日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、inashore@athena.ocn.ne.jp

2008-09 年度 会長 小西 勝、幹事 高瀬 顕正

2008-09 年度 RI テーマ



「夢をかたちに」

(李東建会長)

① 例会記録

② 第 5 回「南砺の山々を守ろう」植樹祭記録

2009年(平成21年)4月30日 木曜日 社会・地域ニュース (34)



開会式で桃野会長(左)のあいさつを聴き、参加者(右)から大人まで約200人が参加した。南砺市井波地域の赤祖レイクサイドパーク

「大きく育て」と心込め

色鮮やかな花が咲き、多くの新緑が目に映る。南砺市井波地域の赤祖レイクサイドパークで、九日に開かれた植樹祭「南砺の山々を守ろう」が、青空が広がる好天の下、子どもからお年寄りまで多くの参加者が、同地域で栽培が盛んなツバキや、ドンタ。

井口植樹祭

同市福野地域を拠点とするカールスワット日本連盟県支部の井口支部が、福野小学校四年と福野有紗さん同、南部慶希さん同は、暑くて植木を育て、豚汁と、立ち回った木の炭を活用して作った焼き鳥が振る舞われた。

同市福野地域を拠点とするカールスワット日本連盟県支部の井口支部が、福野小学校四年と福野有紗さん同、南部慶希さん同は、暑くて植木を育て、豚汁と、立ち回った木の炭を活用して作った焼き鳥が振る舞われた。

緑あふれる古里に 井口植樹祭



南砺市のNPO法人「南砺の山々を守る実行委員会」が、十九日(土)に井波二十一年は福野の山々を守る実行委員会(桃野会長)のあいさつを聴き、参加者(右)から大人まで約200人が参加した。南砺市井波地域の赤祖レイクサイドパーク

野忠義(左)は十九日、同市井波地域の赤祖レイクサイドパークで、九日に開かれた植樹祭「南砺の山々を守ろう」が、青空が広がる好天の下、子どもからお年寄りまで多くの参加者が、同地域で栽培が盛んなツバキや、ドンタ。

植樹祭は、カールスワット日本連盟県支部の井口支部が、福野小学校四年と福野有紗さん同、南部慶希さん同は、暑くて植木を育て、豚汁と、立ち回った木の炭を活用して作った焼き鳥が振る舞われた。



5 回「南砺の山々を守る」植樹祭に、井波庄川ロータリークラブも協賛、会員も植樹に参加しました。

①第1472回例会

平成21年5月13日(水) 井波文化センター

1. 点鐘 小西会長
2. 君が代斉唱
3. ソング「我等の生業」
4. ゲスト紹介：津田信治氏・大村仁志氏（富山大手町RC）



5. 卓話者紹介：宮崎雅司会員
6. 月誕生祝：水島会員（4日）福嶋会員（10日）山本会員（10日）河合会員（30日）



7. 月結婚祝：川那辺会員（26日）



8. パースディソング

9. 会長の時間…「富山大手町RCに皆様、ようこそ。4月22日以来、久しぶりの例会です。この間、4月26日、砺波RCのチューリップ例会に参加しました。29日は、南砺の山々を守る植樹祭に、ユニフォーム・ジャンパーで参加、井口ゆーゆランドで椿とナラの苗木

を植えてきました。5月5日は、南砺RCの招待で、斉藤エレクト、河合副会長と城端曳山祭りを見てきました。」

10. 幹事報告…「①来週卓話は、地区協後のC.A.の予定ですが、早めに切り上げ、残った時間は荒木会員の卓話にします。②30周年記念式典の経費の支払いをしております。申し出てください。」

11. 委員会報告…①社会奉仕委員会：5月30日、井波地区「ごみゼロ」です。6時半から実施します。6月7日は、庄川地区「クリーン大作戦」で7時から実施です。②「地区協」（斉藤彰エレクト）：5月17日、12時頃出発します。浅田・荒木・川那辺・菊林・小西・斉藤・坂井・助田・高瀬・山本・横山幹・宮崎、以上の会員が登録してあります。③出席委員会（代理）：24名中16名出席（出席免除者7名中5名出席）・・・出席率72.73%

12. ニコニコBOX(助田 SAA：本日12名23,000円)

富山大手町RC：（有難う御座いました）

小西会長：富山大手町RCのお二方、ようこそ。

河合副会長：①誕生祝お礼②南砺の山々感謝③5/5南砺RCの例会にメイキャップしました。

高瀬幹事：父の葬儀のお礼。

川那辺会員：結婚祝お礼。

斉藤会員：河合さん、30周年の写真の世話に感謝。

米道会員：30周年の成功を祝福。

福嶋会員：誕生祝お礼。

水島会員：誕生祝お礼。

村松会員：快気祝。（小西会長預かり）

助田会員：早退お詫び。

山本会員：①誕生祝お礼②30周年記念誌、原稿をとなり印刷に渡しました。皆さんに協力お願い。

（5月計 23,000円：年度累計 351,000円）





友情のバナー交換

富山大手町RCから、チャーターナイトのご案内

津田氏：1月19日創立例会、2月13日、2610地区第66番目のクラブとして正式に認証を受けました。親クラブは、高柳ガバナーの富山中RCです。富山では、富山みらいRC以来12年ぶりの新クラブです。例会日は月曜夜18:30～19:30で、会場は富山ANAクラウンプラザホテルです。村尾新会長の下、夜間例会ではアルコールOKということで、食事もうつくりできるようつとめています。

さて、6月13日は、富山国際会議場でチャーターナイトおよび記念の「ボニージャックス」コンサートを企画しております。是非、貴クラブからのご参加をお待ちしております。

卓話「塑像をつくる」宮崎雅司会員



宮崎会員：塑像とは、辞書によると「粘土（または石膏）細工の像」とあります。

大作はほぼ等身大の作品ですが、小形の作品も作ります。まずは、スケッチブックにデッサンをして、

製作イメージをもとにポーズを決定します。

続いて角材にシュロ縄（腐りにくい）を針金に巻き、製作台の芯棒に固定し、粘土をつけていきます。粗付けをしていき、重心はへその位置にきて、立足が垂直にバランスを取るよう位置関係を決めます。中仕上げの段階で、突然神が降りてくる（WBCでイチローが話したような・・・）ように一気に仕事すすむことがあります。粘土原型が完成したら、切金を全ての背面の稜線（歯科で言えば、最大豊隆部）の手前に入れて、下ほれがないようにする。

粘土原型に石膏を盛り、塗り重ねていく。固まったら、切金の頭の部分を削り出し、底から背面の石膏型を1枚ずつ外し、背面の型を全て外し、粘土をかきだす。石膏型の内部を水洗いし、綺麗にする。

石膏内部にカリ石鹼（仕上げが石膏）または油性ワックス（仕上げが樹脂）などで出来た離型剤を塗る。

樹脂を石膏型（陰型）に注入する。樹脂はFRP（fiber reinforced plastic：繊維強化プラスチック）であるので、割れにくく丈夫。樹脂は、硬化の際、有毒ガスを発生するので、冬場の寒い時期でも作業場の窓を開けて仕事をしなければならない。

硬化後、石膏型をのみと槌で割り出し、樹脂原型にする。サンドペーパーやヤスリで整え完成させる。

樹脂はグレー色をしているので、着色剤を塗り刷毛で塗っていく。乾いたら、タオル地の布で磨いて完成。ここまでの製作時間は、等身大の作品で、220時間余り、所要日数約60日である。（宮崎会員資料より、山本抄録）



②第5回「南砺の山々を守る」植樹祭



水は命の源
美しいま、海へ

第5回

南砺の山々を守ろう!



4月29日(祝祭の日)
井口椿の里で植樹祭

里山の自然は人が守るもの




〈井口椿の里植樹祭 会場案内図〉



〈井口椿の里植樹祭〉
会場 井口椿の里
日時 4月29日(祝)
午前10:30～
午後5:00まで
●持ってくるもの
天候次第では雨具、
長靴
(土や水は、足は汚れますが、
おにぎり・マイ箸・
マイお瓶
(飲み水も持ってくる方がいいです！)

**山林を所有される
皆様をお願いします。**

日本の自然はただ野放図にされているわけではありません。昔から、人々が延々と手をかけて守ってきたからこそ、バランスよく豊かな自然があります。庄川や小矢部川の安定した水量や豊富な地下水は、人工のダムと共に、奥深く美しい山々があればこそです。美しい国土と地球の為に、貴方の山への樹木と雨前のご理解・ご協力を！

里山再生の決め手！被害木の炭を使ってみませんか？

今や全国23府県に被害が及び、平成14年の南砺市の被害は65㎡でしたが、6年後の平成20年には7,946㎡にまで拡大しました。南砺の山々を守る実行委員会では、カシナガ被害木を年内に切り、翌年2月までには炭に仕上げる作業を行っています。火の粉が弾けないよう炭を使ってください。



ご用命は☎0763-55-1009水口通へ

今、里山で一番必要なのは、木を切って使うことです。

間伐も伐打ちもせず、地表に太陽光の届きにくい過密な人工林は、根の張り方が浅く風水害に強い材質の木々しか育ちません。貴方も下草刈りを体験してみてください。貴方の健康とそして地球の健康の為に。



皆様のご支援・ご協力をお願いします。詳しくは下記連絡事務所、またはホームページにてご覧下さい。

【主催】 NPO法人 南砺の山々を守る実行委員会
【共催】 北日本新聞社、南砺市商工組合
【後援】 南砺市、とやま緑化推進機構
【協賛】 株式会社西郷、日の出産業、井波庄川ロータリークラブ、南砺市商工組合
【事務局】 南砺市商工組合(南砺市高倉387-4 TEL.0763-22-4131)

南砺の山々を守ろう

なぜドングリの木の植樹なの？

暑い夏に突然、山々のドングリのなる木が枯れ始め、毎年広がる一方で、カシノナガキクイムシはドングリの木の中へ入り込んで、虫の食害にする為のナラ菌を培養します。そのナラ菌のせいで、水を吸い上げられなくなったドングリの木が枯れるのです。普通に行われているような外部からの薬剤散布では、立ち枯れ被害を止める事ができません。有効な防除方法が見つかるまで、できるだけ早く木を植えて補う事が重要です。広葉樹とその落ち葉は保水力が大きくて、下流の洪水を防ぎ砺波平野や射水平野の美しい川の水や豊富な地下水を供給してくれるからです。



2008年安居植樹のひとこま



植えた苗木に「大きく育って」とたっぷり水をやる様子

水は命の源！ 美しいままで海へ返そう。

人間をはじめ地上の生き物は、水と太陽が無ければ生きて行けません。水は雨となって天から降ってきます。雨は集まり水となって川を下り海へ出ます。海は天に通じて雲となり、再び雨となって大地を潤し生き物を育んでくれます。砺波平野と射水平野の大部分は、庄川と小矢部川の扇状地として水の力で作られました。平成20年7月のゲリラ豪雨により南砺市の里山に大きな洪水被害が起きました。立ち枯れた木々が多く、雨を貯え切れなかったのかも知れません。

ドングリとは！

ドングリとはブナ科のミズナラ、コナラ、カシワ、ナラガシワ、アベマキ、ウバメガシ、香カシ類の堅果を総称したものです。

特にコナラ属のシラカシ、アラカシ、ウラシロガシ等の実などが「ドングリ」の名で親しまれています。

人は縄文の時代から栽培した美味しい栗に対して、人が食べてもまずい栗の意匠で「ドングリ」を付けたのでしょう。

人にとっては然いドングリも、山の動物にとっては大切な食料です。

広葉樹林が伐採され、針葉樹の人工林になった山々では、小動物も生きられません。

必要最低限のドングリが、今また絶滅の危機にさらされています。



2007年閑桑寺植樹のひとこま



人間は便利なものに弱い。便利なものほど良いものだと思って本当に良い物を捨ててしまう。近頃の人間は自分達も自然の一部だということを忘れていく。

心で分かってほしい

人間が一番大切なのはいい空気や自然の水、それをつくりだす木や草花の。

農方が植えた小さな木は、やがて大きな地球を救う日が来ます。

今年で5回目の植樹にご協力をお願いします。

日に日に温くなる地球

貴方はいかがお過ごしですか？

南極の氷山が加速度的に解けています。岩肌の見えだした写真に驚かされました。大きな氷山が、今日も海に崩落を続けています。昨年2月にはこの10数年前で富士山の海面が9cm上昇したと報じられました。雨の多い季節には海岸近くの住宅地が浸水被害にあう事が多くあります。

マイバックやマイ箸など小さな事だと面倒がる人も多いのですが、今までの乱暴な消費活動がエネルギー消費としては最も多い事を知ってください。

このままでは砺波平野で育っていた稲や野菜が育たなくなる事が懸念されます。

貴方は子供の時代に、地球の環境を心配したでしょうか？ 稼働の手段も無いのに壊し続けて、これから子供達に恐怖や被害を残していいのでしょうか？

植えることも大切ですが、切って使う事も今は大切です。



それぞれの皆さんが、出来る作業で協力下さい。



(編集後記)

今年も「南砺の山々を守る」植樹祭が成功裏に終わりました。河合会員のお世話で井波庄川ロータリークラブも協賛して、少しでもこの活動が実を結ぶよう支援を続けたいと思います。1年や2年で結果が出るものではない、このような活動はスタートは必ず地道なことから始まり、10年20年してようやく大きな成果がわかるものだと思います。しかし、このような地道な活動に対して、マスコミの報道によって上手く取り上げられることで、火がついたようにあちこちでいろんな関連した活動が始まっています。点が線となり、線が面となることで、大きな活動になるのだと思います。(山本武夫)